

本書の掲載内容に下記の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。初版時からの訂正を載せております。お手持ちの本では修正されている可能性もございます。

| 頁 | 箇所 | 誤 | 正 |
|-----|----------------|--|--|
| 16 | ② 特徴 1 行目 | 塩基度は 1.4 以上 | 塩基度は 1.6 以上 |
| 26 | 問題 5 解説 (4) | | |
| 20 | 下から 3 行目 | セメントの強熱減量は 3%以下 | ポルトランドセメントの強熱減量は普通・早強・超早強で 5%以下, 中庸熱・低熱・耐硫酸塩で 3%以下 |
| 24 | 問題 2 解説 (4) | かなり遅く、強度にも | かなり速い。また強度には |
| 62 | 1 行目 | 1800kN | 1800N |
| 64 | 問題 3 解説 (1) | 残留ひずみの説明 | 永久ひずみの説明 |
| 86 | 表中-水 | 175 | 182 |
| | 4 行目 | = 34.6 | = 42.08 |
| | 7 行目 | 175 - 35 = 140 | 182 - 42 = 140 |
| 104 | 問題 9 (3) | 記述のとおりである | 試験に用いる試料はモルタルである |
| 122 | 問題 6 表 | | ※(a)(b)(c)の語句を削除 |
| 141 | ② 空気量の表 | スランプの許容差 | 空気量の許容差 |
| 146 | 下から 2 行目 | ±2 | ±3 |
| 147 | 8-9 行目 | 3.0×(±2/100)= ±0.06 3.0±0.06= 2.94~3.06 | 3.0×(±3/100)= ±0.09 3.0±0.09= 2.91~3.09 |
| 165 | 表下 4 行目 | の順に養生期間が短くなる | が長くなる |
| 181 | 問題 6 図 | 垂直管 50m 水平管 18m | 垂直管 60m 水平管 20m |
| 182 | 問題 6 解説 | 水平管 : 18m …+6+18+20 | 水平管 : 20m …+6+20+20 |
| 189 | 問題 17 (1) | 養生期間が短い | 養生期間が長い |
| 189 | 問題 18 (2) | 取り除かれなければならない | 取り除いてはならない |
| 198 | 問題 33 (1) | 地中梁より壁 | 壁より地中梁 |
| 198 | 問題 33 解説(2)(3) | のほうが大きい | のほうが小さい |
| 240 | 問題 37 解説 (2) | 有効である | 有効でない |
| 248 | 問題 1 (3) 2 行目 | 硬練りコンクリートを型枠に~ | ※削除します |
| 262 | 問題 2 解説 | (d)のみ~下図の破線~ひび割れが発生する。 | (a)のみ~ひび割れの向きが逆になっている。 |
| | 問題 2 解答 | (3) | (2) |